

## 湯河原町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例新旧対照条文

現 行	改 正 後	備 考
<p>(葬祭補償)</p> <p>第18条 非常勤消防団員等が公務により、又は消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことにより、死亡した場合においては、町は、葬祭を行う者に対して、葬祭補償として、<u>315,000円</u>に補償基礎額の30倍に相当する金額を加えた金額を支給する。</p>	<p>(葬祭補償)</p> <p>第18条 非常勤消防団員等が公務により、又は消防作業等に従事し、若しくは救急業務に協力し、又は応急措置の業務に従事したことにより、死亡した場合においては、町は、葬祭を行う者に対して、葬祭補償として、<u>330,000円</u>に補償基礎額の30倍に相当する金額を加えた金額を支給する。</p> <p>附 則 (施行期日)</p> <p>1 この条例は、公布の日から施行し、この条例による改正後の湯河原町消防団員等公務災害補償条例（以下「新条例」という。）の規定は、令和8年4月1日から適用する。</p> <p>(経過措置)</p> <p>2 新条例第18条の規定は、令和8年4月1日（以下「適用日」という。）以後に支給すべき事由の生じた葬祭補償について適用し、適用日前に支給すべき事由の生じた葬祭補償については、なお従前の例による。</p> <p>(補償の内払)</p> <p>3 適用日以後に支給すべき事由が生じた葬祭補償であって、この条例による改正前の湯河原町消防団員等公務災害補償条例（以下「旧条例」という。）第18条の規定による金額により支給されたもの又は旧条例附則第7条の規定による金額により支給されたもの（その金額が66万円未満であるものに限る。）の支払は、新条例第18条の規定による金額により支給されるべき葬祭補償の内払とみなす。</p>	